

平成25年度 初任者研修「一般研修」第2期

学校力向上に関する総合実践事業の実践指定校の視察

1 実施内容

① 8月26日(月)

- ・参観授業① 全学級及び算数科の少人数指導参観
- ・参観授業② 2年2組『水の量』参観
- ・研究協議
- ・学校力向上について

日程	内容	実施報告	初任者研修のまとめより
参観授業①	全校 授業参観	全学級及び算数科少人数指導の学習を参観。4年生『がい数を使った計算』の習熟場面において、2グループに分かれた少人数学習の様子を参観。	学年を通して、学習の流れ・板書など共通する部分が多く学校として足並みが揃っていると感じた。話し方・聞き方の掲示物や学習規律など徹底されており、一貫した指導、組織的な取組の重要性を感じた。
参観授業②	特設授業 2年2組 『水の量』	事前に、「学習過程・学習規律・学習環境」など、授業の参観ポイントを押さえ参観に臨んだ。5Lと3Lの和と差を求める学習において、1Lのいくつ分かで表し、図や式を用いて考える場面を参観。	問題や課題を聴き取って書くことで、教師と同時に書き終わる児童が多く、普段の訓練が行き届いていると感じた。どこに重点を置くかで授業の時間配分も変わってくるが、ストップウォッチで時間を区切りながら授業を進めてみたいと思った。
協議	授業② 研究協議	授業者からの話を聞いた後、KJ法にて授業について交流。参観ポイントに沿ってグループごとに成果・課題をまとめ発表。その後各自今後に生かしたいことや感想等をまとめた。	学習規律をしっかり身につけさせることで、授業中の話し方・聞き方も定着し、学習のスムーズな流れや子どもたちの学力にもつながる。毎日の積み重ねが何より大切である。
説明	学校力向上 について	『学校力向上を目指した取組』と題し、本校が取り組んでいる基礎学力の保障、学習規律の徹底、校内研修の重点化、若手教員の育成、子どもと向き合う時間の確保などについて講義を行った。	学力向上に向かって全体で進んでいるのがすばらしいと思った。どの取組も全体で統一して続けていくことが大切で、周りの先生と協力することが大切だと学んだ。

② 8月29日(木)

- ・参観授業① 全学級及び算数科の少人数指導参観
- ・参観授業② 5年2組『分数の大きさとたし算・ひき算』参観
- ・研究協議
- ・学校力向上について

日程	内容	実施報告	初任者研修のまとめより
参観授業①	全校 授業参観	全学級及び算数科少人数指導の学習を参観。6年生は習熟度別に4グループに分かれて『比例と反比例』を学習する様子を参観。	発表の仕方やノートのとり方が身につけており、課題をしっかりと把握したり発表によって学びがより深まったりしていると感じた。
参観授業②	特設授業 5年2組 『分数の大きさとたし算・ひき算』	事前に、「学習過程・学習規律・学習環境」など、授業の参観ポイントを押さえ参観に臨んだ。2/3-1/2の計算のしかたを考える学習において、通分したり図を用いたりして考え交流する場면을参観。	前時の内容をノートで振り返ることで、児童自ら課題を予想し主体的に考える授業となっていた。既習事項を本時に生かす工夫や、個からペア、全体へと広がる交流の学習形態もとても参考になった。
協議	授業② 研究協議	授業者からの話を聞いた後、KJ法にて授業について交流。参観ポイントに沿ってグループごとに成果・課題をまとめ発表。その後各自今後に生かしたいことや感想等をまとめた。	学習形態の工夫についての協議では、個ペア全体と交流する際に、時間設定や交流内容を明確にしておくことが大切であると感じた。学習規律が全校で統一され、定着している。指導の積み重ねを大切にしているからだと思った。
説明	学校力向上について	『学校力向上を目指した取組』と題し、本校が取り組んでいる基礎学力の保障、学習規律の徹底、校内研修の重点化、若手教員の育成、子どもと向き合う時間の確保などについて講義を行った。	具体的な実践例ばかりで大変学びの多い時間だった。学校全体で子どもの学ぶ機会を確保し、指導に一貫性をもたせること、振り返り改善していくことが必要なのだと感じた。

初任者研修「一般研修」第3期の実施（小学校）

◇ 実施報告（実施順）

NO	日時	研修内容	実施報告・初任者の感想等
1	8月21日	総合的な学習の時間の進め方、特別活動の進め方、学校行事の指導の仕方 講師：名寄小学校教頭	目標・特質・意義・内容を確認。学級活動における事前・時中・事後の活動や学級経営・教室設営の具体、総合的な学習における地域資材・人材の活用について等。 <u>感想</u> 子どもの主体的な取組のためには、事前準備やサポートが重要である。集団で個を育てる意識で今後よりよい指導に努めていきたい。総合的な学習では、生活に生きる発表、自分の生き方につながるような発表を目指していくことを学んだ。
2	8月28日	アイヌの人たちの歴史・文化、北方領土に関する指導 講師：名寄市教育委員会部長	『松浦武四郎が見た天塩川・北加伊道』についての講話。当時のアイヌ民族の生活の様子を細かに説明いただいた。 <u>感想</u> 本州の文化と比較しながら知ることができ、知識を深めることができた。子どもたちの郷土愛を育むためにも、教師がその土地について学ぶ姿勢をもつことや地域に根付いた教育を目指していくことが大切であると学んだ。多くの知識をもって指導していきたい。
3	9月2日	特別支援学級における自立活動の指導 講師：名寄小学校教諭	名寄市の特別支援教育の歴史や指導内容、障害のある子を含めた学級づくりについて等。 <u>感想</u> 特別支援学級の在籍に関して保護者の意思が尊重されており、学校の環境整備や対応が大切であると感じた。障害のある子に「優しくする」のではなく、お互いを理解するという学級経営や、自立を目指した楽しい学びとなる授業をしていきたい。
4	9月5日	保護者との信頼関係の築き方、社会教育との連携 講師：名寄東小学校教頭	保護者との信頼関係づくりにおいて「肯定的な姿勢」「情報連携を行動連携」「子どもとの関係づくりを大切にする」ことの重要性について等。 <u>感想</u> 保護者との関わりにおいて懇親会や学園レク・個人面談などを通し、信頼関係を築く大切さや難しさを感じている。まずは保護者の声を聴き受け止めることが第一歩であると思った。
5	9月11日	学習指導（オール北海道で目指す目標に基づく指導の工夫） 講師：名寄西小学校教頭	オール北海道で目指す目標に基づく指導についてや、わかる喜びできる楽しさを実感できる授業等についての協議および演習。 <u>感想</u> 「子どもたちの良さを磨き、その輝きが授業で光るように」という言葉を受け、自分の授業をあらためて振り替えることができた。目標に合った活動が展開できているか考え、

			教材研究や事前準備をしっかり行い授業の質を上げていきたい。
6	9月13日	教育実践上の諸課題（学校評価・各種アンケートの活用） 講師：名寄南小学校教頭	学校評価のねらいや活用、児童アンケート、学校分析・授業分析等についての協議および演習。 感想 子どもにとってわかりやすい授業を目指して自己評価をし、学校が楽しくなるために学校評価を行うことを忘れずに積極的に意見を出していきたい。自分自身、評価をする側・される側として学校の教育目標・重点目標を確認しながら教育にあたりたい。
7	9月17日	校務処理・教務の仕事、学校保健 講師：風連中央小学校教頭	教務の仕事についてや学級経営、校務処理上実践すべきことや学校保健について等、具体的な事例を交えた協議および演習。 感想 仕事の優先順位をしっかりと見極め、取り組んでいくことが大事であると学んだ。学校保健については、子どもたちの変化に気づくためにはいつもの状態を知っていることが大切なのだと改めて感じました。
8	9月18日	学習指導の工夫（初任者による研究授業、研究協議） 講師：名寄小学校教諭	名寄小学校かえで学級の算数『がい数』『速さ』を参観。参観後、授業の流れや支援等についてKJ法で意見交流を行い、「基本的な学習過程」「実物投影機を活用した授業」「ノート指導」「算数の授業の課題」について協議。 感想 児童の実態を考慮した授業・指導でありすばらしかった。研究協議では、何を重点として授業をするのか考え教材の準備をすることが必要であるとわかった。授業を見て意見交流することで考えが深まった。
9	9月19日	児童生徒理解（いじめ・不登校等への対応） 講師：風連中学校教頭	教師と児童生徒の人間関係、教育相談の機能、いじめ・不登校・問題行動への対応等についての協議および演習。 感想 生徒指導で特に大切だと感じたのは「組織として対応すること」である。保護者や子どもとの関わりでは、電話でなく会って話すことで理解が深まったり安心につながったりすると感じた。子どもの心に寄り添った指導のためにも児童・生徒理解を大切にしていきたい。